

跡見学園女子大学短期大学部

紀 要 総 目 次

(自 第1集～至 第36集)

第1集 昭和37年(1962)3月刊

「神話」の展開	中 島 悦 次
「定家卿百番自歌合」小考	田 尻 嘉 信
アダム・スミスにおける道徳是認の問題	森 園 節 生
満洲語基礎語彙Ⅱ・衣篇	山 本 謙 吾
本学における家政科授業課目とその再検討	有 富 光 子

第2集 昭和38年(1962)9月刊

「神話」の展開(承前)	中 島 悦 次
スエーデンの学校教育	鷺 尾 倭 文
和歌における羈絆と場と	伊 藤 嘉 夫

第3集 昭和41年(1966)3月刊

楊素と薛道衡	綱 祐 次
名所題詠の成立	田 尻 嘉 信
家事作業の領域に関する一考察	三 東 純 子

第4集 昭和42年(1967)3月刊

中古仮名文における数詞の用法—(その一、順序表現)—	小 松 登 美
井上内親王とその周辺	
——歴史物語における史話的・民俗的素材についての一考察——	青 木 敦
果物の果汁・果汁羹・果汁ゼリーのPH糖度について	近 藤 美千代
家事作業の領域に関する一考察	
第三報 立位作業における作業範囲について	三 東 純 子
第四報 立位作業における作業の至適高について(二)	
……	三 東 純 子 本 間 小枝子
Virginia Woolfの小説における文体の変化——初期から中期——	行 吉 邦 輔

第5集 昭和43年(1968)3月刊

関根文庫目録	関根俊雄
<翻刻>当流改正節用料理大全	篠崎和子
農家の家計運営に関する一考察	本間小枝子

第6集 昭和44年(1969)3月刊

「雲の使」と「鳥の使」と	
——古代文芸における距離感と媒介物の発想——	青木敦
寢覚物語会話文の待遇法について	小松登美
短期大学と開設学科目	有富光子
<翻刻>当流改正節用料理大全(承前)	篠崎和子
只誠埃録内容目次(後半)	関根俊雄
日本民踊における基本運動の研究	安藤幸

第7・8集(合併号) 昭和46年(1971)3月刊

(続) 庾信周王聲調曲	網祐次
赤染系譜 ——婦心系職掌部の信仰と伝承——	青木敦
「妃の宮」考	小松登美
新古今名所「せみの小川」考	
——『賀毛名所和歌集』と関連して——	田尻嘉信
武家百人一首とその類別の百人一首	伊藤嘉夫
<翻刻>当流改正節用料理大全(完結)	篠崎和子
関根文庫目録(二)	関根俊雄
甘露煮のくり(びん・かん詰)のTex Tureについて	関千恵子
THE MILLER'S TALE: AN INTERPRETATION	
——HIS CHERLES TALE——	藤井基精

第9集 昭和47年(1972)3月刊

地方説話考 ——その一 国司系説話群と郡司系説話群——	青木敦
大歌と大歌所	高橋六二
跡見学園短期大学図書館所蔵 異種百人一首目録	篠崎和子
武備百人一首 ——異種百人一首の成立をめぐって——	伊藤嘉夫
関根文庫目録 三	関根俊雄

農家の家族関係近代化と役割分担 ——現状と問題点—— ……阿 部 和 子

第10集 昭和48年(1973)3月刊

寢覚物語欠巻考補遺 ——寢覚物語絵巻を廻って—— ……小 松 登 美
跡見学園短期大学図書館架蔵 小倉百人一首類書目録稿 ……篠 崎 和 子
関根文庫目録(四) ……関 根 俊 雄
橋本文論の英文への適用 ……関 根 俊 雄
クロレラに於けるK欠乏の影響 ……鷺 尾 倭 文

第11集 昭和50年(1975)3月刊

地方説話考 ——その二 地方説話の中央指向について—— ……青 木 敦
寢覚物語欠巻考拾遺 ……小 松 登 美
「永久三年十月廿六日内大臣忠通後度歌合」小考 ……田 尻 嘉 信
西村未達ノート(一) 翻刻—浅草拾遺物語 ……湯 沢 賢之助
「虞美人草」の周辺 —漱石とズーデルマン— ……石 崎 等
大正デモクラシー期の教育政策に関する一考察類 ……類 家 友 富
関根文庫目録 五 ……関 根 俊 雄
和服の袖丈に関する一考察(ふだん着) ……本 間 小枝子
家庭管理面からみた食生活の問題点 ——食事型態を中心に—— ……阿 部 和 子

第12集(跡見学園創立100年記念) 昭和51年(1976)3月刊

学園創立百年を記念して ……学長 有 富 光 子
扇面法華経巻一扇九の下絵の典拠について
——源氏物語若紫の巻との関連—— ……小 松 登 美
とりかへばや物語の構造 ……石 埜 敬 子
「野中の清水」考 ……田 尻 嘉 信
西村未達ノート(二) ——『西村本』書誌(未定稿) —— ……湯 沢 賢之助
『三四郎』の方法
——小説のすべての内的な筋は、時間の力に対する闘争にほかならない
<ルカーチ『小説の理論』> —— ……石 崎 等
「人間の教育」におけるF・フレーベル(F. Fröbel)の“労作”観 ……小 高 晋 二
特設道德に関する一考察 ……類 家 友 富
関根文庫目録 六 ……関 根 俊 雄

新しい女性の体操	安藤幸
オスカー・ワイルドの芸術観	
——“The Decay of Lying”を中心に——	小倉尚憲
陶技考 その一“土”	蓑輪英淳
主婦の衣生活に関する考察	
——被服構成について（第1報）——	
——衣服の着用状態について（第2報）——	本間小枝子
放線菌の分離と固定	武市千代子

第13集 昭和52年（1977）3月刊

和泉式部と漢学	小松登美
和泉式部日記の引歌	石埜敬子
堀河百首名所考	田尻嘉信
『草枕』論の前提	石崎等
国語科教育における「鑑賞指導」の問題	湯沢賢之助
海老名弾正の政治思想	吉馴明子
関根文庫目録七（完）	関根俊雄
羽尺物による婦人用あわせ羽織の裁ち方について	本間小枝子
スタンダールにおけるロマン主義運動（2）	
—附『ロマンティシズムとは何か、とロンドーニオ氏は言う』（スタンダール）—	
	……白田紘

第14集 昭和53年（1978）3月刊

和泉式部日記私見 —本文解釈をめぐって—	小松登美
名所への視角	田尻嘉信
「あさちが露」私註（一）	石埜敬子
漱石と＜則天去私＞	石崎等
チャールズ・ラム	中尾一人

第15集 昭和54年（1979）3月刊

入水の譜 —鎮魂と転生の潮路—	青木敦
「夜の寝覚」の和歌覚書	石埜敬子
久安百首名所考	田尻嘉信

海老名弾正と『新人』の青年たち	吉 馴 明 子
グンデルトの能楽本質論	関 根 俊 雄

第16集 昭和55年（1980）3月刊

現存『和泉式部正集』祖本に関する一考察（第一部）	小 松 登 美
西村未達ノート（三）	湯 沢 賢之助
入試成績の追跡研究	小 高 晋 二

第16集（別冊第1集） 昭和55年（1980）3月刊

まえがき	
解 説	志賀富士男編
一、日記に書かれた人物像を逐って	
二、『鈴江日記』が書かれた頃の政治情勢	
『鈴江日記』	志 賀 重 昂
第一巻	
第二巻	
第三巻	
志賀重昂年譜	志 賀 富士男

第17集 昭和56年（1981）3月刊

英雄伝承考	青 木 敦
現存『和泉式部正集』祖本に関する一考察（第二部）	小 松 登 美
虎明本から虎寛本へ	土 屋 博 映
『自叙伝』の改稿	石 崎 等
明治中期における国民教育体制確立の過程に関する一考察	類 家 友 富
入試成績の追跡研究（2）	小 高 晋 二
アポリネールの機械	竹 内 廸 也

第18集 昭和57年（1982）3月刊

和泉式部日記私見（二）	小 松 登 美
林義端研究ノート（一）	
——*翻刻玉櫛笥（巻一～巻三）——	湯 沢 賢之助
『自叙伝』の改稿 ——森田草平研究（二）	石 崎 等

男鹿市門前のナマハゲ	高橋六二
フィールディングの「トム・ジョウンズ」	中尾一人
人間の形成に関する一考察 ——教育作用とは何かについて——	小高晋二

第19集 昭和58年(1983)3月刊

和泉式部日記私見(三)	小松登美
説話文学の文章の研究(一)	土屋博映
林義端研究ノート(二)	
——翻刻 玉櫛笥(巻四～巻七)(承前)——	湯沢賢之助
ポーとボードレールの交感	浅原義雄
西ドイツ ノルトラインヴェストファーレン州の美術館	
——現代美術を収蔵する美術館の現況——	蓑輪英淳
インド人の生命観(1) ——ジャイナ教の生命観——	鷲尾倭文

別冊第2集 昭和58年(1983)3月刊

スタンダール 著

ローマ、ナポリ、フィレンツェ	白田 紘 訳・編
----------------	----------

第20集 昭和59年(1984)3月刊

名所史の基点	田尻嘉信
説話文学の文章の研究(二)	土屋博映
『自叙伝』の改稿——森田草平研究(三)——	石崎 等
「雪国の来訪神」採訪資料(続篇)	高橋六二
「ポーについての新しい覚え書」考	浅原義雄
ベルトランのサラマンドル	樋口正明

別冊第3集 昭和59年(1984)3月刊

「雪国の来訪神」採訪資料	高橋六二
--------------	------

第21集 昭和60年(1985)3月刊

古代伝承における流水去来の想念

——流れくるものと流れゆくものへの祈り——	青木 敦
和泉式部集における係結びについて ——その一——	小松登美

「同名名所」小考	田尻嘉信
「地誌御調書 東盛寺」について ——復刻と解説——	湯沢賢之助
室生犀星稿（一） ——初期創作集をめぐって——	大塚博
入試成績の追跡研究（3）	小高晋二
G・ビューヒナーにおける生命観 ——『レンツ』を中心に——	吉田文子
ボードレールのポー翻訳史（1）	浅原義雄

別冊第4集 昭和60年（1985）3月刊

「運動教育」 ——身体表現の位置づけ——	安藤幸
----------------------------	-----

第22集 昭和61年（1986）3月刊

『枕草子』の「をかし」の価値	土屋博映
和泉式部百首歌群小考	小松登美
『和歌初学抄』の名所記載	田尻嘉信
室生犀星稿（二） ——「結婚者の手記」と二つの系譜——	大塚博
志摩の正月行事（資料1）	高橋六二
名古屋帯に関する考察	本間小枝子
A Pragmatics Analysis on English Textbooks	Beniko Akaeda

別冊第5集 昭和61年（1986）3月刊

エドガー・ポー原作

ボードレール訳

『異常な物語』研究	浅原義雄
-----------------	------

第23集 昭和62年（1987）3月刊

仏教説話の地域性についての考察

——『今昔物語集』本朝仏法部の古寺検索——	青木敦
和泉式部歌の「めり」をめぐって	小松登美
植村正久の国家、社会観	吉馴明子
志摩の正月行事（資料2）	高橋六二
婦人用ゆかたに関する考察 ——肩当ての現状——	本間小枝子
入試成績の追跡研究（4）	小高晋二
<i>The Rainbow</i> ：愛の理想を求めて	内藤歆修

第24集 昭和63年(1988)3月刊

平安時代歌合歌の用語について ——上代語の残存——	小松登美
『語意考』研究	土屋博映
<i>Sons and Lovers</i> : 歪められた愛の姿	内藤歆修
『新異常な物語』研究(1)	浅原義雄
入試成績の追跡研究(5)	小高晋二
インド人の生命観(2) ——アーユル・ヴェーダの生命観——	鷲尾倭文
和裁の学習に関する考察	本間小枝子

第25集 平成元年(1989)1月刊

「あさぢが露」私註 ——(二)——	石埜敬子
西村本小説攷 ——「諸国奇譚集」をめぐる——	湯澤賢之助
室生犀星稿(三) ——「見る」ことの変質——	大塚博
アラン・フルニエの生涯(二)	鈴木正昭
コンビネーションレンジによる加熱調理 ——家庭用パイシートの膨化について——	近藤美千代
<i>Women in Love</i> : 完全なる愛への到達	内藤歆修
『新異常な物語』研究(2)	浅原義雄
入試成績の追跡研究(6)	小高晋二

第26集 平成2年(1990)1月刊

末法世前夜の文学 ——平安中期の仏教説話における「念仏往生譚」の様相(一)——	青木敦
西村本小説攷(その二) ——『小夜衣』の方法——	湯澤賢之助
説話文学の文章の研究(三)	土屋博映
久高島由来譚	高橋六二
T・E・ヒュームとパスカル	兼武進
中世伊勢神宮社殿についてのいくつかの問題	丸山茂
<i>Aaron's Rod</i> : 「力の衝動」への服従	内藤歆修
『新異常な物語』研究(3)	浅原義雄
生活時間と運動内容に関する研究 ——跡見学園短大学生の場合(第1報)——	安藤幸

第27集 跡見花蹊生誕150年 跡見学園短期大学創立40年 記念号

平成3年(1991)1月刊

跡見花蹊女史生誕百五十年、本学設立四十年を迎えて……学長 田 尻 嘉 信
末法世前夜の文学

——平安中期の仏教説話における「念仏往生譚」の様相—— (二) 青 木 敦
室生犀星稿 (四) ——創作危機と再生への模索—— ……大 塚 博
和泉式部正集白河歌群帥宮歌をめぐって その二 ……小 松 登 美
麦穂祭——琉球の諸間切諸島の場合 ……高 橋 六 二
T・E・ヒュームとバートランド・ラッセル ……兼 武 進
信仰と救済 ——東西宗教思想比較研究ノート (その一) —— ……武 本 昌 三
風景美学の研究 ——自然との交感—— ……望 月 登美子
眼差しの崩壊

——試論 Oscar Wilde “The Happy Prince”中の「見る」ことについて——

……三 輪 春 樹

関係からカテゴリーへ 系譜から社会へ

——北部マダガスカル ツィミヘティ族の関係名称考—— ……深 澤 秀 夫
Towards the Whole Person: the Significance of Physical
Presence in Conrad’s “The Secret Sharer” ……奥 田 洋 子
The Plumed Serpent : 女性の「服従」 ……内 藤 歆 修
『新異常な物語』研究 (4) ……浅 原 義 雄

第28集 平成4年(1992)1月刊

『伊勢物語』解釈私論

——百一段の解釈をめぐって—— ……土 屋 博 映
鎌倉時代物語に見られる二、三の問題について
——『あさぢが露』を中心に—— ……石 埜 敬 子
T・E・ヒュームとG・E・ムーア ……兼 武 進
中世における伊勢神宮内宮正殿の構造について ……丸 山 茂
「見る」ことへ信仰

——論考 写真に先立つ眼差し, J. VERMEERとP. SAENREDAM——

……三 輪 春 樹

江戸後期の羽織に関する一考察 ……本 間 小 枝 子

Lady Chatterly's Lover : 優しさの成就内 藤 歆 修
『新異常な物語』研究 (5)浅 原 義 雄

第29集 平成5年(1993)1月刊

末法世前夜の文学

——平安中期の仏教説話における「念仏往生譚」の様相—— (三)

.....青 木 敦

『枕草子』の「すさまじ」の位置土 屋 博 映

T・E・ヒューム「塹壕日記」の一解釈兼 武 進

死と復活 イエス・キリストの場合

——東西宗教思想比較研究ノート(その二)——武 本 昌 三

「浮世絵とO. Wilde作“The Happy Prince”の視覚空間の類似性についての考察」

——イギリスにおけるジャポニスムの断面として——三 輪 春 樹

Kangaroo : 新たな指導者を求めて内 藤 歆 修

『新異常な物語』研究(6)浅 原 義 雄

第30集 平成6年(1994)1月刊

『中野重治全集』未収録資料二つ大 塚 博

近世出版の『百人一首』(その一)湯 澤 賢之助

ワイルド『獄中記』と西田幾多郎『善の研究』兼 武 進

回心と信心 親鸞とパウロの場合

——東西宗教思想比較研究ノート(その三)——武 本 昌 三

Far From the Madding Crowd: 侵食される田園内 藤 歆 修

『新異常な物語』研究(7)浅 原 義 雄

人間の形成過程に関する一考察

——本との「であい」的契機を中心に——小 高 晋 二

第31集 平成7年(1995)1月刊

近世出版の『百人一首』(その二)湯 澤 賢之助

『リチャード二世』覚書兼 武 進

ヨハネ福音書の成立について

——東西宗教思想比較研究ノート(その四)——武 本 昌 三

心柱ノート丸 山 茂

<i>The Return of the Native</i> : エグドンの悲劇	内藤 歆 修
『新異常な物語』研究 (8)	浅原 義 雄

第32集 平成8年(1996)2月刊

沖縄——島々の神 (1)	高橋 六 二
欲望する子どもたち ——「小さな王国」論——	小 仲 信 孝
WTO体制下における消費者問題	
——農産物・食料の安全性基準を中心に——	小 林 茂 典
相撲の衣服に関する考察 (第1報)	
——力士の「ゆかた」について	本 間 小 枝 子
<i>A Pair of Blue Eyes</i> : 恋愛対照法	内 藤 歆 修
『新異常な物語』研究 (8)	浅 原 義 雄
Arthur Conan DoyleのSpiritualismについて	武 本 昌 三

第33集 平成9年(1997)3月刊

沖縄 ——島々の神 (2)	高橋 六 二
古代文学史の一視角	青 木 敦
枕草子の「ねたし」の位置	土 屋 博 映
室生犀星稿 (五)	大 塚 博
E・M・フォースター「永遠の瞬間」	兼 武 進
C.F. MeyerのNovelle “Das Amulett”	隈 井 秀 人
<i>Desperate Remedies</i> 過去の謎解き	内 藤 歆 修
『新異常な物語』研究 (10)	浅 原 義 雄
Arthur Conan DoyleのSpiritualismについて ——補遺	武 本 昌 三

第34集 平成10年(1998)4月刊

<触れる>身体の祝祭	
——反「地図小説」としての「秘密」——	小 仲 信 孝
室生犀星稿 (六) ——『魚眠洞随筆』あるいは音/聞くこと——	大 塚 博
芥川「西方の人」の「詩的正義」について	兼 武 進
津田左右吉の『日本古典の研究』にみる神社建築の成立過程	
——神社建築史ノート (一)	丸 山 茂
Education and Growth in Five Hemingway Works	Micah Box

16世紀イタリアの標章集

- ゴンザーガ家関係の標章を中心として—— (1) ……………吉澤京子
相撲の衣服に関する考察 (第2報) ——力士の袴について ……………本間小枝子
RAMTHAとは誰か ——RAMTHA研究序説 (その1) ……………武本昌三
Under the Greenwood Tree:
崩壊する田園世界と分裂するFancyの価値観 ……………内藤歆修
『新異常な物語』研究 (11) ……………浅原義雄

別冊 第6集 平成10年 (1999) 4月刊

- 生活時間と運動に関する研究 ——日本と中国の学生の比較—— ……安藤幸

第35集 平成11年 (1999) 3月刊

- 津田左右吉の『日本古典の研究』における大化前代の史実
—神社建築史ノート (二) ……………丸山茂
『新異常な物語』研究 (12) ……………浅原義雄
宇宙意識への覚醒——ラムサ研究序説 (その二) —— ……………武本昌三
The Trumpet-Major : 時による愛の変容 ……………内藤歆修
Detachment and Endurance in Conrad's Victory ……………奥田洋子
ローベル・ドロネー再説 抽象と具象の間, あるいは「窓」から
「ガーディフ・ティーム」へ ……………村田宏
カント時間概念の萌芽 ……………副島善道

16世紀イタリアの標章集

- ゴンザーガ家関係の標章を中心として—— (2) ……………吉澤京子
スタンダールを読みながら ……………白田絃
私立短期大学英语・英文系学科における
教職課程の現状とその分析 ……………小高晋二
特別活動の変遷 ……………小高晋二
「カント事典」執筆項目について ……………副島善道
パオロ・ジョーヴィオのコモの「Museo」について ……………吉澤京子

第36集 平成12年 (2000) 3月刊

- <僕>のテキスト戦略 ——森鷗外『雁』を読む—— ……………小仲信孝

沖縄一島々の神 (3)	高橋六二
『枕草子』の「普通でない」を意味する言葉について	土屋博映
『匠家故実録』にみる建築儀礼	村田あが
『新異常な物語』研究 (13)	浅原義雄
聖書と SPIRITUALISM — 「コリント人への手紙」における パウロの信仰について—	武本昌三
<i>The Well-Beloved</i> : 恋の亡霊	内藤歆修
トロンプ・ルイユ絵画再考 —19世紀アメリカ美術への一視角—	村田宏
「カントの認識論における合目的性の客観性」	副島善道
国内研修による成果の報告	丸山茂
町田市の風土歴史 シンポジウムにおける講演の報告	村田あが
「江戸時代の家相説」 (文部省科学研究費出版助成による) 刊行の報告	村田あが
二つの展覧会カタログに寄稿して	村田宏